

ツアー番号
LKYXZSSMPY

世界中で話題のツアー（10日間）

10日間・9泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この10日間のツアーは、専属シャウフェール兼ガイドとエアコン付き車で、文化三角地帯から山岳地帯を経由して南海岸までスリランカ全域を網羅しています。ダンブッラの洞窟寺院と古都ポロンナルワから始まり、シギリヤ・ロック・フォートレスに登り、マタレのスパイスガーデンに立ち寄った後、キャンディの仏歯寺と文化舞踊公演に到着します。

キャンディからはペラデニヤ王立植物園、ハットンからのアダムズピーク明け前登山、エッラ周辺の景観の良いトレイルと9つのアーチ橋へと山岳地帯に上ります。その後、野生動物と海岸へとペースを変え、ヤラ国立公園でのジープサファリ、アハンガマ近郊のホワイトティー工場訪問、ゴールの立ち漁とフォート・タウン、ミリッサでのホエールウォッチング、マドゥ川でのボートサファリ、コスゴダのウミガメ孵化場、そして出発前にコロンボを最後に見学します。

旅行者はスリランカの主要な見所 — 古代遺跡、山岳地帯の風景、紅茶とスパイス文化、3つの独立した野生動物遠足 — を凝縮されたバージョンで体験でき、それらを自分で繋ぎ合わせるロジスティクスを計画する必要がありません。2つの国立公園サファリ(ミンネリヤとヤラ)とホエールウォッチングツアーは、異なるハビタット全体で野生動物を見る複数の異なる機会を提供します。



日程詳細

1日目　空港 → ピンナワラ → ダンブッラ

コロンボ国際空港に到着後、専属のドライバーガイドがお出迎えし、ダンブッラへ向かいます。途中、石窟寺院を見学します。



ダンブッラ石窟寺院

ダンブッラの黄金寺院は紀元前1世紀に起源を持ち、仏陀の生涯を描いた古代の壁画が残されています。神王の洞窟や大王の洞窟を含む5つの主要な洞窟には、数百体の仏像や神像が安置されており、境内から少し離れた場所には黄金の巨大仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

2日目 ダンブッラ → ポロンナルワ → ミンネリヤ → ダンブッラ

スリランカの古代史と野生動物を一度に楽しめる一日。ポロンナルワの遺跡都市を訪れた後、ミンネリヤ国立公園でジープサファリを行います。



ポロンナルワ古代王国

ポロンナルワは10世紀から13世紀にかけて繁栄した、スリランカ第二の王都です。遺跡を歩いて巡ると、ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮の浴場、ランカティラカ寺院、そしてこの都市の黄金期とされる治世を築いたパラークラマバーフ王の像などの遺構を見ることができます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園

公園内の低木地帯や森林をジープサファリで巡り、象をはじめ、その他の哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類を観察するチャンスがあります。5月から10月の乾季には、150頭以上の象が一か所に集まる「グレート・エレファント・ギャザリング」で知られています。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

3日目 ダンブッラ → マータレ → キャンディ

チェックアウト後、シーギリヤ・ロック・フォートレスとマータレ近郊のスパイスガーデンを訪れ、夕方にはキャンディで伝統舞踊ショーを観賞します。



シーギリヤ・ロック・フォートレス

この5世紀の岩上要塞は、カーシャパ王の王都でした。入口はライオンの爪をかたどった造りになっており、そこからこの地の名が付けられています。登る途中には色あせない古代の壁画、段状の庭園、今も機能する貯水池、そして頂上の宮殿跡へと続く通路が見られます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



マータレのスパイスガーデン

スリランカのスパイスの都として知られるマータレ近郊のスパイス・薬草園をガイド付きで見学し、コリアンダー、唐辛子、シナモン、カルダモン、ナツメグなどの作物と、アーユルヴェーダをはじめとする伝統的な利用法について学びます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



キャンディアン・カルチュラルショー

太鼓の演奏に合わせて火の踊り手や剣の踊り手、キャンディアン・ダンサーが披露する伝統芸能を1時間にわたって観賞できるほか、宝石加工や木彫り、バティック染めの様子も見ることができます。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

4日目 キャンディ → ハットン

キャンディを出発してハットンへ向かう前に、市内で最も重要な仏教聖地と、近郊のペラデニヤにある植物園を訪れます。



仏歯寺

このユネスコ世界遺産は16世紀に建立され、仏陀の聖なる歯の遺物を納め、守るために建てられました。通路や広間は赤、クリーム色、黒で装飾され、彫刻の施された柱や金色の仏像が並びます。

A.Savin · FAL



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に設立されたこの植物園には、ランやスパイス、薬用植物を含む4,000種以上の植物が植えられています。見どころには大砲の木(カノンボールツリー)、吊り橋、迷路のような生垣、そして登ることができる大木などがあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

5日目 ハットン → エラ

早朝からアダムスピークの登頂に出発し、下山後に朝食をとってからエラへ向かいます。



アダムスピーク

この標高2,250メートルの山は「スリー・パーダ」としても知られ、仏教徒、イスラム教徒、ヒンドゥー教徒のいずれにとっても聖なる存在です。山頂には足跡の形をした窪みがあり、1000年以上にわたって巡礼地とされてきました。登山は午前1時頃から始まります。

Bourgeois · CC BY-SA 3.0

6日目 エラ → ヤラ

午前中はエラ周辺の美しい景観を楽しみ、その後ヤラへ移動して午後にジープサファリを行います。

エラの散策

茶畑や岩がちな地形を通り抜け、リトル・アダムスピークの景色を眺めながら進む散策コースです。ナイン・アーチズ・ブリッジを渡り、独特のループ状の線路design で知られるデモダラ駅で終わります。



ヤラ国立公園

スリランカ南東海岸に位置する、国内で2番目に大きい国立公園でのジープサファリでは、スリランカヒョウ、ウォーターバッファロー、ナマケグマ、そして大きな象の群れをはじめ、多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類を見ることができます。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

7日目 ヤラ → アハンガマ

アハンガマへの道中、紅茶工場に立ち寄り、夕方にはゴールと高床式漁師を見学します。



ハンドゥヌゴダ紅茶工場

「ヴァージン・ホワイト・ティー工場」としても知られるこの工場では、ここで生産される紅茶の歴史や、手で触れずに摘み取り加工される「ヴァージン・ホワイトティー」の製法について学びます。その後、紅茶とチョコレートケーキの試食もお楽しみいただけます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

コッガラの高床式漁師

コッガラ海岸沿いで、高い竿の上に腰掛けて漁をする伝統的な漁法を代々受け継ぐ漁師たちの姿を見学します。彼らの話を聞き、夕日を背景に写真を撮ることもできます。



ゴール要塞

ポルトガルとオランダによって築かれた、アジアで最も保存状態の良い要塞のひとつです。海事博物館、ゴール国立博物館、灯台、そしてオランダ語の名残を残す石畳の通りがあります。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

8日目 アハンガマ → ミリッサ → アハンガマ

午前中はミリッサの港からボートに乗り、クジラを探しに出かけます。その後はビーチでゆっくりと過ごします。



ミリッサでのホエールウォッチング

資格を持つ自然ガイドが同行するミリッサ港発のボートサファリでは、スリランカ南部沿岸の海でシロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラを見るチャンスがあります。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0



ミリッサ・ビーチ

ウェリガマ湾の東端に位置する弓形のビーチで、両側へ緩やかに曲がる砂浜が特徴です。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

9日目 アハンガマ → バラピティヤ → コスゴダ → コロンボ

コロンボへ向かう道中、南西海岸沿いで川のボートサファリとウミガメの保護施設を訪れます。



マドゥ川ボートサファリ

マドゥ川のマングローブ水路をボートで巡り、日光浴するワニやオオトカゲ、地元住民がシナモンを収穫する小さな島、魚によるマッサージ体験ができるスポット、そして自然の生息地にいる水鳥たちを見ることができます。

SUPindia · CC BY-SA 4.0



コスゴダ・ウミガメ保護施設

この施設では、この海岸沿いに産卵する5種の絶滅危惧ウミガメを保護しており、「コスゴダ・タートル・ケア・プログラム」によって卵が守られ、孵化率の向上に努めています。訪問者は赤ちゃんガメや、保護されている負傷した成体のカメを見たり触れたり、餌を与えたりすることができます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

10日目 コロンボ → BIA(バンダラナイケ国際空港)

出発前の最後に、コロンボ市内観光を行い、その後空港へ向かいます。



コロンボ市内観光

オールド・ライトハウス、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館といった首都の名所を巡るとともに、独立広場やレースコースなどのショッピングエリアも訪れます。

Gihanud2001 · CC0

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.